

高校教育課 情報メール

発行者：宮城県教育庁高校教育課
<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/>

県立高等学校の特色ある学校づくりの取組や全日制課程普通科通学区域の全県一学区等についての情報をお届けします。

【高校の特色ある取組】等は各高等学校からの原稿を掲載しています。

なお、県立高等学校についての情報及び全県一学区についての情報は以下のホームページを御覧ください。

県立学校「公立高校ホームページ」

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

全県一学区決定までの経緯等

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyou-kikaku/>

全県一学区に向けての取組

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/ichigakku/ichigakku.htm>

■ もくじ ■

1：【事業紹介】

- (1) 進学指導地域拠点形成事業
- (2) みんなの専門高校展

2：【高校の特色ある取組】

- (1) 宮城第一高等学校
- (2) 田尻さくら高等学校
- (3) 富谷高等学校

3：【高校情報】

国際交流活動を行っている高等学校

4：【お知らせ】

高校教育課HP情報

5：【編集後記】

■ 1 事業紹介 ■

□ 進学指導地域拠点形成事業（平成19年度～平成21年度）

県教育委員会は、県内各地域の進路指導の拠点となる高等学校への支援事業を平

成10年度から重点的に実施しています。

平成19年度からは、平成22年度の全県一学区への対応も含め、宮城県全体の均衡ある発展のために「進学指導地域拠点形成事業」を実施しています。

今回はその事業を紹介します。

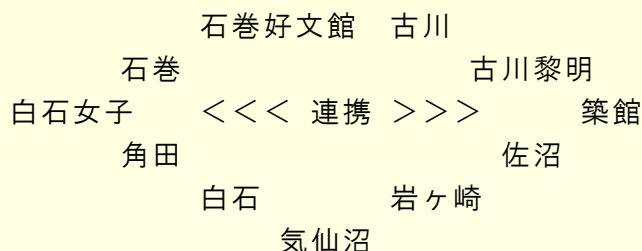
1 目的

現在県内各地でより強く求められている進学指導の拠点となる学校を教育委員会として強力に育成することにより、県内どの地域においても、生徒が身近な高等学校で確かな学力を身に付け、自ら希望する進路を達成できるようにします。

2 事業概要

生徒の進路希望を達成させるために、県内各地の進学指導の拠点となる学校（以下「指定校」という。）の進路指導の充実を図ります。指定校においては、教員間、中学校と高等学校、高等学校と大学、学校と家庭、地域と学校、そして指定校間においてさまざまな連携や協力・協働関係を構築し、総合的な進路指導の充実のための事業を展開しています。

指定された高等学校は、角田、白石、白石女子、石巻、石巻好文館、古川、古川黎明、築館、佐沼、岩ヶ崎、気仙沼の11校です。



3 事業期間 平成19年度～平成21年度

4 事業内容

※事業実施に際しては、（ ）内の連携関係を重視しています。

①連携学習会（指定校間）

生徒の進路意識を向上させるため、難関大学志望者の多い高校が連携し、長期休業等に指定校合同の学習合宿又は課外学習を実施しています。

【平成19年度実施校：佐沼、古川、古川黎明、岩ヶ崎】

②異校種間連携（中学/高校/大学）

（ア）高大連携

大学による公開講座（高校生対象）、夏季休業中1日

県北、県南それぞれ1校

【平成19年度実施校：佐沼、白石】

（イ）生徒の進学希望を達成させるため、大学及び地域の中学校等と連携して

授業改善を進める「地域授業塾」を開催しています。

地域授業塾では、中高の教員が公開授業に参加し、授業改善について研究協議します。

【平成19年度実施校：佐沼】

③連携モデルプラン（指定校間）

効果的な進学指導を実践する高校を連携モデル校と位置付け、連携モデル校の実践を研究実践校が研究・実践することにより、効果的な進学指導を行います。

（ア）フロンティアプラン（国公立大学志望クラス指導）

連携校 【築館（研究実践校）—角田（連携モデル校）】

(イ) サクセスプラン（小論文試験対策指導）

連携校 【岩ヶ崎（研究実践校）－石巻，古川（連携モデル校）】

④連絡協議会（指定校間）【すべての指定校】

各指定校は学校の枠を超えて，各校での進路指導のノウハウを交流し，情報交換を密にすることにより課題を共有し，それに対する解決策を見出します。

⑤学習記録簿（学校/生徒/家庭）【すべての指定校】

各指定校は，生徒に学習記録簿等を配布し，家庭学習習慣の確立のための指導を計画的，継続的に実施しています。

⑥各校独自の取組【各指定校】

各指定校は，学習合宿，進路指導研修会，予備校等を活用した教員研修，大学入試研究等，各校独自に効果的な取組をしています。

□ みんなの専門高校展

本県の専門高校等で学んでいる生徒が，日頃の学習活動や成果を広く県民の方々に発表することをおして，専門高校等に対する理解をしていただくことを目的とした「みんなの専門高校展」を以下の日程で実施しました。

この取組は，11月1日が「みやぎ教育の日」に，11月が「みやぎ教育月間」として定められていることから，毎年この時期に実施しているものです。

[期間]：平成19年11月13日（火）～15日（木）

午前10時～午後3時

[場所]：県庁1階ロビー

[参加高等学校及び内容]

<11月13日（火）>

- ◆一迫商業高等学校：「もちっ小屋でん」と共同開発した商品の販売
米ていら（こめていら）
夢持ちっちーず（ゆめもちっちーず）

- ◆工業高等学校：学校紹介，生徒作品展示，生徒作製ゲーム，電子機器の販売
- ◆鹿島台商業高等学校：学校紹介，大崎ツアー企画，菓子販売（わらじ村長豆，餅菓子）

- ◆鶯沢工業高等学校：学校紹介，蒸気機関，スターリングエンジン紹介，生徒作品展示

<11月14日（水）>

- ◆南郷高等学校：生産物の展示・販売（シクラメン，トマト，米等）
- ◆黒川高等学校：学科紹介，エネルギー教育関係発表，生産物展示・販売（ネギ，トマト，ブロッコリー，餅米，シクラメン等）
- ◆米山高等学校：生産物展示・販売（白米，ネギ，白菜，タマネギ，カブ，レタス，シクラメン等）
- ◆水産高等学校：学校紹介（写真展示，パワーポイントによる海洋実習プレゼンテーション），サンマ・マグロ缶詰販売，浮球販売

<11月15日（木）>

- ◆亘理高等学校：家政科・学科紹介，食品化学科・学科紹介，製造品の販売（オレンジマムレード，フルーツパウンドケーキ等）
- ◆加美農業高等学校：学校紹介，学科紹介，生産物展示・販売（リンゴ，リンゴジュース等）

- ◆柴田農林高等学校：生産物展示・販売（シクラメン、リンゴ、リンゴジュース等）
- ◆農業高等学校：学校紹介、農業クラブ発表、生産物展示・販売（シクラメン、リンゴ、大根等）

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

- 宮城第一高等学校
| <平成20年度共学化とともに進学重視型単位制の導入>
-

平成20年度より、第一女子高等学校は「宮城第一高等学校」となり、男女共学校として新しく出発します。校名は変わっても、校歌・校章は変更せず、今まで培ってきた伝統や校風はそのまま継続していきます。

共学にあたって、大きく変わるところは、まず、進学重視型単位制になることです。

共学化しても県内トップの進学校を目指すという目標は変わりません。その目標を実現するために、これまで県内にはなかった進学重視型単位制高校をつくり、みなさんの進路目標の実現を今まで以上にサポートしていきます。

単位制の良い点は学年制に比べ、より幅の広い選択科目の中から一人一人の興味関心・適性・進路希望により、自分に最適の時間割をつくれることです。また、少人数授業や習熟度別授業が多くなり、個々に応じたきめ細やかでより緊張感のある授業が受けられ、みなさんの学習意欲もさらに高まります。単位制は、自分の個性を大切にし、自らの判断と責任で希望進路を切り開くために、意欲的な高校生活を送ろうという生徒に向いています。

次に変わる点は、平成21年度から55分授業を取り入れることです。これは、授業時間を増やし、質の高い充実した指導を実現するためのものです。1日の授業時数を増やす（例えば毎日7時間授業にする）よりも、予習・授業・復習のサイクルにゆとりができ、自学自習の習慣も身に付きやすくなります。また、部活動など課外活動の時間も十分に確保できます。

20年度入学生の教育課程は、高校2年生から55分授業を週32コマとなりますので、50分30コマの標準的な高校の一週間の授業時間よりも260分多くなります。

最後に、本校を志望する中学生のみなさんには、学校での勉強はもちろんのこと、学校内外での部活動や学校行事、ボランティア活動などに積極的に参加しようとする意欲あふれるチャレンジを期待します。

中学生のみなさん、「宮一女高」から「宮一高」への新しいページを開きながら、あなたのより大きな夢を実現させて見ませんか！

→ <くわしくはこちら> <http://www.ichijo.myswan.ne.jp/>

- 田尻さくら高等学校
| <県北初の単位制高校、いよいよ来春4月開校>
-

田尻さくら高校の特色を簡単にまとめました。

○単位制

さまざまな学習スタイルが提供され、自分自身で時間割をつくり、希望する進路に向けて頑張れます。(進学・商業/情報・福祉など)

○二部制

I部の授業→1～4校時、I部とII部の併修時間→5・6校時、II部の授業→7～10校時となり、I部の生徒は1～6校時を、II部の生徒は5～10校時を履修します。

自分のライフスタイルにあわせて、I部かII部かを選べます。

○三修制

単位制の高校であるため、従来の学年にとらわれず、74単位以上修得すれば、3年間で卒業できます。

夜間定時制高校とは全く違う、新しいタイプの学校です。

○新校舎

介護実習室や情報処理室等を備えた新校舎が完成しました。(平成19年11月)

○アクセス

JR東北本線田尻駅から徒歩7分と恵まれた立地条件にあります。学区は、全県です。

→〈くわしくはこちら〉<http://www.tajiri-hs.myswan.ne.jp/indexsakura.html>

問い合わせ 宮城県田尻さくら高等学校開設準備室

TEL 0229-39-1051 (田尻高等学校内)

教頭 澤田可知 教諭 井上芳友

□ 富谷高等学校

| <総合的な学習の時間で“自らの人生をデザイン”>

富谷高校は平成6年4月に開校した普通科の高等学校です。コース制を導入し、人文、国際、理数の3つのコースがあります。コース毎にそれぞれの特徴がありますが、人文・国際コースと理数コースとでは教育課程が大きく異なるので、しっかりと目的意識を持って入学することが大切です。

本校生徒はそのほとんどが大学進学希望です。また、男子ハンドボール部が平成15年度に全国大会に出場を果たし、今年度も県総体第3位・国体県予選優勝のほか、硬式野球部が平成16年度及び平成18年度に夏の甲子園大会県予選でベスト4に輝き、また文化部においても昨年弦楽合奏部が高校総合文化祭全国大会に出場するなど部活動も盛んです。

さらに富谷高の大きな特色となっているのが、“T time”と“ネタプリ”です。“T time”とは富谷高独自の総合的な学習の時間のことで、1年生で職業研究をし、2年生の進路研究では分科会やゼミ形式で発表をします。そして、その成果を3年生へのスーパーTゼミへと発展させ、進路達成を目指します。つまり、“自らの人生を主体的にデザインする”ことが目標なのです。

“ネタプリ”は、小論文対策の一つとして始められたものです。すべての教員が毎週4～6系統に分かれて新聞記事からの抜粋などの“ネタ”を掲示し、それに対して生徒達が“ネタノート”に自分の考えを書いて提出します。現在では全校挙げての取組となっており、単なる受験対策以上の意味合いを持つようになってきています。

開校当時は自然に囲まれてのどかだった環境も、今では新しい住宅や商業施設が建ち並ぶ活気あふれる街並みに変わって来ています。それとともに富谷高も年々盛り上がりを増し、生徒・教職員一丸となって地元富谷を代表する高校となるべく頑張っています。

来年の春には入学式で、みなさんとお会いできることを願っています。

→〈くわしくはこちら〉<http://www.tomiya-h.myswan.ne.jp/>

■ 3 高校情報 ■

高等学校の特色ある取組をまとめて紹介するコーナーです。

□ 国際交流活動を行っている高等学校

県内の高等学校で国際交流を重視した取組を紹介します。

(平成19年度5月1日現在の調査)

○英語以外の外国語を学習できる(選択履修)高等学校

中国語 … 蔵王高等学校, 迫桜高等学校, 貞山高等学校(定時制)

フランス語 … 仙台東高等学校, 泉高等学校, 宮城野高等学校, 富谷高等学校

○海外への修学旅行を実施している高等学校

韓国 … 村田高等学校, 名取北高等学校, 松島高等学校

アメリカ … 仙台東高等学校, 石巻商業高等学校

ドイツ … 利府高等学校

タイ … 南郷高等学校

シンガポール, マレーシア … 富谷高等学校

○海外の高等学校等と姉妹校提携をしている高等学校

中国 … 蔵王高等学校, 迫桜高等学校, 貞山高等学校(定時制)

韓国 … 加美農業高等学校

アメリカ … 角田高等学校

フィンランド … 第三女子高等学校

○海外研修プログラムがある高等学校

(各市町村等が主催する海外研修旅行への参加者を含みます。)

アメリカ … 角田高等学校(15名), 佐沼高等学校(10名)

小牛田農林高等学校(7名), 古川高等学校(3名)

登米高等学校(2名)

イギリス … 白石女子高等学校(2名), 仙台第一高等学校(2名)

カナダ … 泉高等学校(45名), 名取北高等学校(17名)

オーストラリア … 仙台東高等学校(23名), 気仙沼高等学校(18名)

第一女子高等学校(4名)

※このほか、フィリピン(名取高等学校, 小牛田農林高等学校), ドイツ(仙台第二高等学校), 韓国(宮城広瀬高等学校), タイ(石巻工業高等学校)で海外研修をした高校生がいます。

■ 4 お知らせ ■

◆高校教育課HP情報

「平成20年度宮城県公立高等学校入学者選抜要項」（入試要項）を高校教育課のHPにアップしました。以下のアドレスで御覧ください。

→ <http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/nyuushi/20youkou.pdf>

■ 5 編集後記 ■

今年は、冬が足早にやってきているように感じます。寒さに負けない気合いが必要です。（特に、朝は！）

「高校教育課 情報メール」第3号をお届けします。県内の高等学校の特色ある取組を御覧ください。

今後も「高校教育課 情報メール」をよろしくお願ひします！

なお、右端をそろえて表示・印刷したい場合、お使いのメールソフトのメニューバーの表示を選択し、文字サイズを等幅に設定してください。

高校教育課 情報メール

○発行：宮城県教育庁高校教育課 〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目 8-1

TEL：022-211-3624 / FAX：022-211-3696
